

J Aグループ山形は8月31日、山形市の県J Aビルで報道機関各社と月例の広報懇話会を開いた。J A青年部を核とした地域ぐるみによる「草刈り隊」の活動が活発化していることなどを報告した。

草刈り隊は、J A青年部の他、農家以外も含めた多様な若手で農業・農村集落の多面的機能を守る活動。国の多面的機能支払交付金を活用して

農地や農道、環境や景観などを守る共同活動が、過疎化と高齢化などで困難になる地域が増える中、J Aグループ山

形には鶴岡市と庄内町の7地域にも結成された。庄内町の旧立川町の3地域でも結成に向けた準備が進んでいる。

## 青年部核に集落を守る

### J Aグループ山形「草刈り隊」活動紹介 結成の動き次々

形は草刈り隊の立ち上げや活動を支援している。

昨年6月に、初の草刈り隊が川西町中里集落に誕生。今

活動2年目の「中里青年会

・草刈り隊」は、畦畔(けいはん)などの草刈りに加え、荒れ地の草刈りにも取り組むな

ど、活動を深化させている。

J Aグループ山形地域・担い手サポートセンターは「所有者の了解なしに関与するのが難しい中、地域ぐるみによる草刈り隊だからこそできた活動」と評価した。

懇話会では他に、J A全農山形が、三川町の園芸産地拡大実証研修農場での園芸振興策の取り組みなどを紹介した。(山形)